

令和2年度行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	高齢運転者の交通事故防止対策に関する調査研究			担当部局庁	交通局	作成責任者			
事業開始年度	平成30年度	事業終了(予定)年度	令和元年度	担当課室	運転免許課	運転免許課長 日下 真一			
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	道路交通法第91条、第101条の4第1項、第2項、第108条の2第1項第12号			関係する 計画、通知等	「高齢運転者による交通事故防止対策について」(平成29年7月7日交通対策本部決定) 「未就学児等及び高齢運転者の交通安全緊急対策」(令和元年6月18日「昨今の事故情勢を踏まえた交通安全対策に関する関係関係会議」決定)等				
主要政策・施策	交通安全対策			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成29年7月の交通対策本部決定において、「80歳以上の運転リスクが特に高い者への実車試験の導入や「安全運転サポート車」限定免許の導入といった高齢者の特性等に応じたきめ細かな対策の強化に向けた運転免許制度の更なる見直し」について速やかに検討することとされた。 また、令和元年6月「昨今の事故情勢を踏まえた交通安全対策に関する関係関係会議」決定において、安全運転支援機能を有する自動車を前提として高齢者が運転できる免許制度の創設に向け、普及方策等について関係省庁が連携して検討を行うこととされている。 これらを踏まえ、調査研究を行い、高齢者の免許制度の在り方について検討し、高齢運転者による交通事故の防止を図る。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	老年精神医学、人間工学、自動車工学等の分野の知見を有する大学教授・医師、認知機能検査・高齢者講習制度の主要な実施主体である指定自動車教習所の関係者から成る会議を定期的に開催し、構成員からの意見を踏まえ、調査研究を進める。								
実施方法	委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度要求		
		補正予算	-	15	36	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	▲ 29	-	-		
		計	0	15	7	0	0		
	執行額	-	15	7	-	-			
	執行率 (%)	-	100%	100%	-	-			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	-	100%	19%	-	-			
	令和2・3年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	2年度当初予算	3年度要求	主な増減理由				
計		-	-						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 年度	目標最終年度 1年度
	高齢運転者の交通事故防止対策に関する調査研究報告書の作成	高齢運転者の交通事故防止対策に関する検証実験、調査報告。	成果実績		-	1	1	-	-
			目標値		-	1	1	-	1
			達成度	%	-	100	100	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	警察庁交通局調べ								

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度 活動見込	3年度 活動見込	
	活動実績	冊		-	1	1	-	-	
	当初見込み	冊	-	1	1	-	-	-	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込		
	調査研究報告書/委託料	単位当たりコスト		百万円	-	15	7	-	
			計算式	事業費/事業数	-	15百万円/1	7百万円/1	-	
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	4 安全かつ快適な交通の確保							
	施策	2 運転者対策の推進							
	測定指標	定量的指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標年度 2 年度
		70歳以上の高齢運転者による死亡事故件数	実績値	件	629	709	602	-	-
			目標値	件	686	686	686	-	686
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	高齢運転者の交通事故防止対策に関する調査研究報告書の内容を踏まえ、運転免許制度の改正を実施することで、高齢運転者による交通事故の防止を図ることにより、上位施策である運転者対策を推進する。								
	取組事項	分野:	-						
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	元年度	2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		-	成果実績	-	-	-	-	-	-
目標値			-	-	-	-	-	-	
達成度			%	-	-	-	-	-	
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	元年度	2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	-	成果実績	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	-	
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係									
-									

政策評価、新経済・財政再生計画との関係

新経済・財政再生計画改革工程表
2019

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	高齢運転者による悲惨な事故の発生が社会問題化する中、社会的なニーズは高い。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	制度見直しが必要となる場合があるため、国が予算措置をする必要がある。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	政府の交通対策決定及び関係閣僚会議決定等に基づくものであり、優先度は高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争入札により複数業者による競争を行い、競争性を確保している。	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	多くの国民が利用する、道路交通の安全に資する施策である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	競争性を確保した上で、支出先を選定しているため、妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	競争性を確保した上で、支出先を選定しているため、妥当である。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	調査項目を精査し、真に必要なものに限定している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	安価で必要十分な成果を提供する企業に委託した。	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	より低いコストでの事業が実施できるよう仕様を十分に検討して契約している。		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	本事業によって得られた成果は、高齢運転者による交通事故の防止に向けた各種施策の検討に活用されている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	専門的知識・技能を有する者に委託することにより、効率的に事業が遂行できている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	当初計画した活動実績について、実行している。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	成果物等、本事業の検討結果は、高齢運転者による交通事故の防止に向けた各種施策の検討に活用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-	
	所管府省名	事業番号		事業名
点検・改善結果	点検結果	政府決定を受け、実車試験の導入や限定条件付免許の導入について検討するなど、高齢運転者の事故防止対策の更なる推進に資する調査研究である。		
	改善の方向性	本事業によって得られた成果を、高齢運転者の事故防止対策の更なる推進のために、積極的に各種施策の検討に活用する。		

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

終了予

今後、同種の事業を実施するに当たっても、引き続き、適切かつ効率的な事業実施に努めること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

り予
終了通

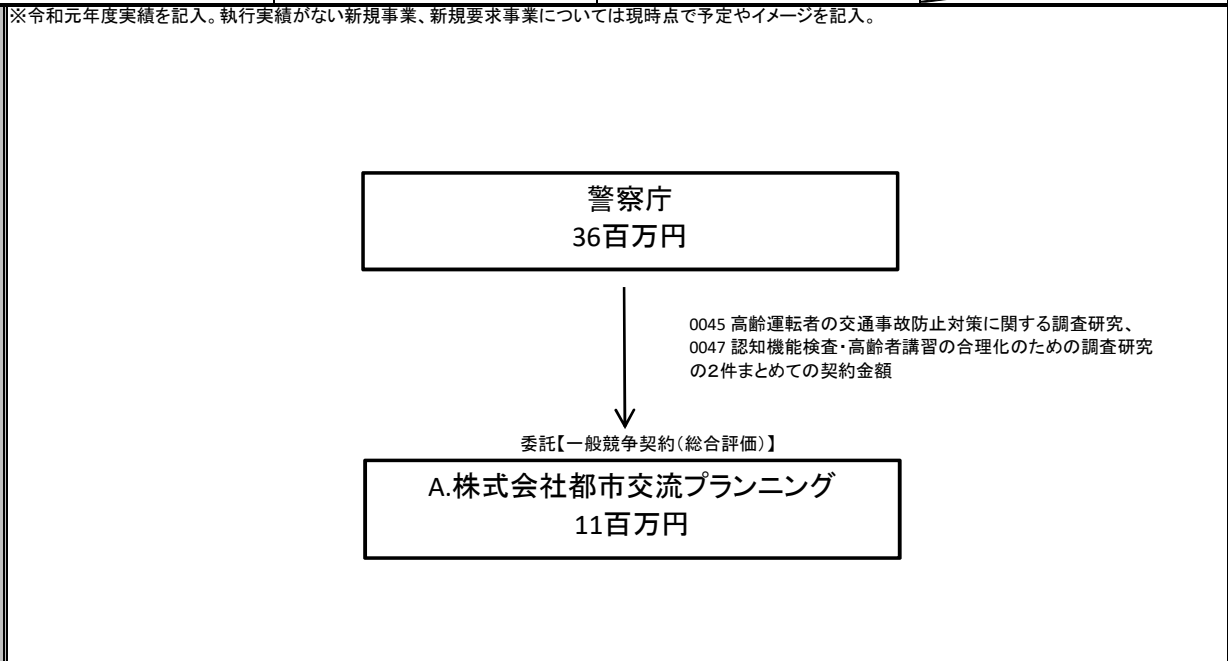
特になし。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成26年度	-	平成27年度	-	平成28年度	-
平成30年度	新30-3				
平成31年度	警察庁 (0045)				

※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.株式会社都市交流プランニング			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	委託費	高齢運転者の交通事故防止対策に関する調査研究	7	-	-	-
-	-	-	-	-	-	
計		7	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社都市交流プランニング	7011101045942	実験の実施、実験結果の分析、報告書の作成等	7	一般競争契約(総合評価)	2	-	